

令和5年度 年間指導計画

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	工業	科目	地球環境化学	単位数	2	学年・学科	2学年・E科(選択)
教科書	実教出版「地球環境化学」		副教材				

学習目標	<p>○地球環境に関心を持ち、意欲的に課題を追求するとともに、みずから課題の解決に向けて考えます。</p> <p>○環境問題の発生原因・背景と人間の生産活動・経済活動との関連をとらえ、次世代に向けての責任を自覚します。</p> <p>○環境保全技術の知識を持ち、取り組みを理解します。</p>
学習方法	<p>○教科書を使って知識を身に付け、資料を収集し、最新のニュース、身近な話題と結び付け、理解を深めます。</p> <p>○課題を発見し、解決に向けて対話的活動を行い、発表します。</p>

	評価の観点	評価の観点の趣旨	学期	重み付け	割合	
					調査	調査以外
学 習 評 価	a 知識・技能	地球環境のなりたちから、そのしくみについて知り、大気・水域・土壌・生態系、それぞれについて基礎的な知識をもち、問題点を理解している。環境問題について、多面的に資料を収集し、比較検討することができる。	前期中間	40 %	30	10
			前期末	40 %	30	10
			後期中間	40 %	30	10
			後期末	40 %	30	10
	b 思考・判断・表現	地球環境の諸問題をさまざまな観点から、総合的にとらえ考察することができ、発生の原因・背景と人間の生産活動・経済活動との関連をとらえることができる。	前期中間	30 %	20	10
			前期末	30 %	20	10
			後期中間	30 %	20	10
			後期末	30 %	20	10
	c 主体的に学習に取り組む態度(意欲)	地球環境に関心を持ち、意欲的に課題を追求するとともに、みずから課題の解決に向けて考える態度が身についている。□	前期中間	30 %	20	10
			前期末	30 %	20	10
			後期中間	30 %	20	10
			後期末	30 %	20	10

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前 期 中 間	第1章 地球と環境と人間	1節 地球と人類について学びます。	○	○	○	a:地球と環境と人間生活の関わりについて理解している。 b:人間活動が地球に与える影響について考察している。 c:地球環境問題に関心を持っている。	課題の取り組み 調査
		2節 地球環境問題について学びます。	○	○	○		

前期末	第2章 地球環境	1節 大気環境について学びます。	○	○	○	a: 大気、水域の成り立ちと問題点を理解している。 b: 大気、水域に対する人間活動の影響について考察する。 c: 大気、水域の問題に関心を持っている。	課題の取り組み 考査
		2節 水の環境について学びます。	○	○	○		
後期中間	第2章 地球環境	3節 土壌環境について学びます。	○	○	○	a: 土壌、生態系の成り立ちと問題点を理解している。 b: 土壌、生態系に対する人間活動の影響について考察する。 c: 土壌、生態系の問題に関心を持っている。	課題の取り組み 考査
		4節 環境と生態系について学びます。	○	○	○		
後期末	第3章 人間活動と環境	1節 人間活動を支える物質資源について学びます。	○	○	○	a: 再生可能エネルギーについて理解している。 b: 資源を有効かつ安全に利用する方法を考えることができる。 c: 資源の価値について関心を持っている。	課題の取り組み 考査
		2節 人間活動を支えるエネルギーについて学びます。	○	○	○		
		3節 化学物質の影響について学びます。	○	○	○		